

## 「ふれあい学習」実施要綱

### 1 趣 旨

障がい者が学校を訪れ、障がい者自身の生活体験を通して生き方や考え方を話すことにより、児童・生徒が障がい者に対する理解やノーマライゼーションに対する理解を深めることを目的とする。

### 2 実施主体

県・市町村社会福祉協議会及び「ふれあい学習」を希望する学校

### 3 対 象

福祉教育の一環として、ノーマライゼーションや障がい者福祉に関して理解を深めようとする学校を対象とする。(保護者等の参加も可)

### 4 申し込み方法

「ふれあい学習」を希望する学校は、地元市町村社会福祉協議会と協議をし、あらかじめ希望する講師を選定し「ふれあい学習」開催申込書を県社協宛提出する。

### 5 実施方法

- ① 事前に障がいやノーマライゼーションに関する学習を行う
- ② 講師に関しての配慮、プロフィールなど事前学習を行う
- ③ 「ふれあい学習」を実施することの意義を教職員で話し合う
- ④ 「ふれあい学習」を実施することの意義を学校内で話し合う
- ⑤ 講師に、学校の状況を伝えておく
- ⑥ 「ふれあい学習」の具体的内容については、おおむね講師の講話を1時間程度とし、質疑応答や必要に応じて交流の時間を設定する。
- ⑦ 「ふれあい学習」後、学校や学級等で障がいやノーマライゼーションに関する“ふり返し学習”を行う(話し合いや感想文を書く等)

### 6 経 費

講師謝金(原則1万円)及び講師所在地から学校までの交通費(県社協旅費規程)を県社協が負担する。

### 7 報 告

「ふれあい学習」当日の写真数点及び実施内容がわかるものを市町村社協経由で提出すること。

## 「ふれあい学習」開催申込書

- 1 対象学年 ( )
- 2 対象予定人数 ・児童・生徒数 名  
・教職員 名  
・保護者 名
- 3 開催予定年月日 ( )
- 4 開催予定学校住所
- 5 予定講師名 ( )  
(障がい種別 )  
予定講師住所 ( )
- 6 講演テーマ

上記のとおり申し込みます。

[ ] 社会福祉協議会 殿

平成 年 月 日

学校名

担当教諭名

(連絡電話番号 )

## 「ふれあい学習」実施報告書

- 1 実施校名
- 2 参加者数 児童・生徒数 名、教職員 名、保護者 名
- 3 開催年月日  
年 月 日 ( ) 時 分～ 時 分
- 4 講師名  
(障がい種別 )  
講師住所  
講師電話番号  
謝金等振込先口座
- 5 講演テーマ
- 6 ふれあい学習の内容 (具体的な流れと状況)

※ 写真や感想文があれば2～3枚添付してください。